

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

8月13日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 同樹会苦小牧病院 新中野町 36-1221
- ◆歯科 山岸歯科矯正歯科 北栄町 53-6666

8月20日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧日翔病院 矢代町 72-7000
- ◆歯科 若菜歯科医院 日新町 72-4191

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



親身な相談で定評

8月25日(金)

高崎 裕子 弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086

日本共産党のホームページ
http://www.jcp.or.jp
苦小牧市議会ホームページ
http://toma-jcp.sakura.ne.jp/
eメールアドレス
commun@rose.ocn.ne.jp

憲法生かす会が宣伝

維新・馬場代表の暴言を批判

戦争反対の党の存在否定は戦前の二の舞

勢を厳しく批判しました。

美光九条の会の能勢公事務局長は、岸田自公政権は軍事優先の戦争する国にしようとしており、日本は戦争が平和の歴史の岐路の立っている指摘。「安保3文書の改定は、米国・中国に次ぐ世界第3位の軍事大国になることをめざすものです。他国に脅威を与え、軍拡競争を煽るもので、日本が戦場にならねえません。むしろ平和外交を積極的に進めるべきです」と強調しました。

何人もが弾圧され殺された歴史をもっており、その存在を否定することは暗黒政治の二の舞をしようとするものであり、許せない。「維新は、与野党を問わずやり玉にあげ、日本の政治はよんでいるとして風穴を開けると豪語して

大軍拡・憲法改悪阻止の秋に

九条の会 10月に大集会 改憲許さず総行動

「九条の会」(東京)事務局は3日、「岸田政権の軍拡に反対し、憲法改悪を阻止する市民の総決起の秋を創ろう」とする声明を発表しました。

声明は、6月21日に閉会した通常国会では、岸田首相が「安保3文書」の実行を狙い、軍需産業支援法・軍拡財源法など多くの憲法を成立させさせただけでなく、「憲法審査会を中心に与党と維新の会、国民民主党などによる改憲の

在も改憲勢力が衆参両院で3分の2を超え、野党共闘も「困難がある」としつつも、小泉政権と安倍政権で、改憲勢力が3分の2を超えていても、国民世論と立憲野党のがんばりで改憲を「挫折」に追い込んだと指摘。「改憲勢力もた

私たちの矛盾を抱えている。私たちが立ち上がれば、改憲は必ず阻止できる」と訴えています。



声明では、岸田政権が企てが急速に進行した」と指摘。次期衆院選で維新の伸長を許せば「軍拡や改憲の企てが国会において立憲主義を蹂躪(じゅうりん)して進行する危険がある」と警鐘を鳴らしています。

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 見直せ
日本共産党

改憲を阻止するため、10月に東京で「大軍拡反対!」の九条の会大集会を開催。集会をステップに憲法が公布された11月を「軍拡反対、岸田改憲阻止の総行動月間」とし、大軍拡と改憲に反対する多様な行動に立ち上がるよう呼びかけています。

ほんの紹介

◆関東大震災 朝鮮人虐殺の真相 関原正裕著(新日本出版社) 1980円(税込)

「朝鮮人が暴動を起こす」「井戸に毒を入れた」。流言はなぜ流れ、また自警団とはどう言う人たちだったか。朝鮮人虐殺を、豊富な物証で国・県の関与を解明。埼玉で真実を追求してきた歴史家が、地域から具体的物証とスケールの大きな時代把握で解き明かします。今と未来のため歴史を知る。



平和の礎の場所から連帯

矢臼別平和盆おどり開催

畠山さん参加



ここに住んでいたい」と国による土地の買収を拒否してきた故・川瀬汎二さんの牧場。演習場のご真ん中のただ1戸を守ることは、平和と基本的人権を守ること、川瀬さん一家を励まそうと始められた平和盆踊りです。

今年で58回目、コロナ禍により4年ぶりの開催。前日の前夜祭、6日のさよなら集会と合わせ、旭川や函館など道内各地と大阪や沖縄など全国から参加した人たちが、平和を願う時間を共有しました。

「沖縄のたにかいに呼応し、北からの安保闘争を！」第58回矢臼別平和盆おどり・復活祭」が5日、別海町など3町にまたがる陸上自衛隊矢臼別演習場の真ん中に位置する川瀬牧場（ピース矢臼別）で行われました。

川瀬牧場は、農地を演習場化するため、開拓農民を次々と離農へ誘導されるなか、「こ



「健康保険証廃止の中止を求め、マイナンバーカード取得の強制に反対します」署名にご協力を。

う」と誓い合いました。

25年前の学生時代に合唱団アンラコロ団員として参加して以降、毎回のように参加している日本共産党の畠山和也元衆院議員が、この日のために準備をすすめてきた実行委員会や設営に関わった人たちに感謝とねぎらいの言葉を

日本の平和主義を考える

15日 反戦平和集会

川原教授が講演



憲法の平和主義を完全に破壊する方向に大きく舵を切りつつあります。世界的な平和を脅かす動きを打開し、市民の力をいかに結集すべきかを考えます。

コロナ感染防止のため、マスクの着用をお願いします。

市内の宗教者や労働組合などの団体が参加する「思想と信教の自由を守る苦小牧市民会議」（丸代表）は15日に、反戦平和集会を開催します。紀元節復活に抗議して建国記念の日と終戦記念日には毎年続けてきている集会で、56年目です。

今年は、川原茂雄札幌学院大学教授（憲法学）を講師に迎え、「ウクライナ問題から日本の平和主義を考える」と題し講演します。

ロシアによるウクライナへの侵攻はいまだに終息が見通せないなか、岸田政権は防衛予算の倍増や敵基地攻撃能力保有、武器輸出の拡大など、

生業と暮らしを守るために
インボイス
実施中止を
日本共産党



熱き平和の声を
あげよう

国会かけある記
はたやま和也

広島・長崎への原爆投下から78年を数えます。北海道でも例年以上の暑さが、投下された日を思い起こさせます。

今年3月末で道内にいる被爆者は200人、平均年齢は85・88歳になりました（北海道被爆者協会調べ）。

生き地獄を経験し、後遺症に今なお苦しむ被爆者に残された時間は多くありません。日本政府による早期の補償、何より核兵器禁止条約の署名・批准を強く求めたい。

道被爆者協会の会長だった故・越智晴子さんは、救護所に向かう途中で「私も連れてつて」と3人の女の

先週、別海町・矢臼別の平和盆おどりが4年ぶりにリアル開催されました。演習場のご真ん中で、平和に生きる権利を訴え続けて58回目。平和への熱い思いの交流や文化ステージの熱

気、子どもたちが太鼓をたたき踊る姿に、おおいに元気をもらいました。平和をつくっているのは、間違いなく草の根の力です。

同じ過ちをくり返さないため、この夏は熱く平和の声をあげていきましょう。

畠山和也（はたやま・かず）日本共産党元衆議院議員



原爆死没者追悼会場で（6日札幌）

院議員